

実践研究福井ラウンドテーブル 2024 Spring Sessions

Keynote Session 教職大学院改革特別フォーラム

2024年2月17日(土) 8:40-11:00

オンライン (Zoom 使用)

「新たな教師の学び」を支える協働のために (5)

## 学び合うコミュニティを多重に編成する研修サイクル

園と市町と県・大学がつながる福井の幼児教育研修を事例に

2022年12月19日の中央教育審議会から出された『「令和の日本型学校教育」を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について～「新たな教師の学びの姿」の実現と、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成～(答申)』では、「新たな教師の学びの姿」として、子供たちの学び(授業観・学習観)とともに教師自身の学び(研修観)も転換し、教師にも「主体的・対話的で深い学び」が求められることが改めて確認された。この研修観の転換に向けては、文科省で予算措置(令和4年度教員研修高度化推進支援事業)もなされるようになり、具体的な条件整備も進んでいる。

本フォーラムではこれまで、理論と実践の往還・融合、教員免許更新制廃止後の研修改革、教員養成フラッグシップ大学構想、学校における学び合うコミュニティの展開、協働探究型研修の創造・展開といった点から教師教育改革の展望を共有してきた中、今回は、施設類型(幼稚園、保育所、認定こども園)をまたいで保育者が学び合うコミュニティを多重に組織している福井県の幼児教育研修システムを事例に、「新たな教師の学び」を支える協働のあり方に迫ってみたい。

### 趣旨説明

#### 報告1: 4つの園のコミュニティを結び、保育者の学び合いを支える

高浜町立認定こども園・保育所 実践研究グループ ぴっか

#### 報告2: 市町のコミュニティを培う県の研修のデザインとサイクル

福井県教育庁 義務教育課長 三崎 光昭

#### 報告3: 分散型コミュニティの多重構造を支える

福井大学大学院連合教職開発研究科 教授 岸野 麻衣

### コメント

独立行政法人 教職員支援機構 審議役/次世代型教職員研修開発センター長 佐野 壽則

国立教育政策研究所 初等中等教育研究部 総括研究官 白水 始

### 省察と展望

福井大学大学院連合教職開発研究科 教授 柳沢 昌一

〈コーディネーター〉 福井大学大学院連合教職開発研究科 准教授 遠藤 貴広

以下、參考資料

【参考資料】これまでの歩み①

2021 Spring Sessions 2021年2月20日（土）10:00-12:00

「理論と実践の融合」への企図 その現段階  
教職大学院の展開をめぐる当事者としての省察と展望のために

挨拶

福井大学 理事（企画戦略担当）・副学長 松木 健一

趣旨説明

福井大学大学院連合教職開発研究科 准教授 遠藤 貴広

報告1： 拠点校方式における指導と連携の実際

信州大学大学院教育学研究科 高度教職実践専攻 教授 畔上 一康

報告2： 大阪市教育局と大阪教育大学の連携による  
現職教員のためのカリキュラム改革

大阪市教育局事務局 総務部 教育政策課 大学連携企画担当課長 比嘉 直子

報告3： 教員育成指標に基づいた資質能力を育成する教員研修について  
～福井大学連合教職大学院との協働を通して～

福井県教育総合研究所 教職研修センター長 山内 康司

提案

福井大学大学院連合教職開発研究科長・教授 柳澤 昌一

コメント

文部科学省 総合教育政策局 教育人材政策課 教員養成企画室長 齋藤 潔

〈司会〉 福井大学大学院連合教職開発研究科 客員教授 寺岡 英男

【参考資料】これまでの歩み②

2021 Summer Sessions 2021年6月19日(土) 10:00-12:00

## 「理論と実践の融合」への企図 その現段階(2)

教職大学院の展開をめぐる当事者としての省察と展望のために

### 趣旨説明

福井大学 理事(企画戦略担当)・副学長 松木 健一

### 報告1: 「理論と実践の融合」をめぐる諸問題とその考察の多視的展開

兵庫教育大学大学院学校教育研究科 教授 山中 一英

### 報告2: 理論と実践の関係を問い、考え続ける教師へ

岐阜大学大学院教育学研究科 教職実践開発専攻 教授 石川 英志

### 報告3: 大学における教員養成の実情から教師教育の理念を問う

——学部教職課程との連動の様相に注目して——

福井大学大学院連合教職開発研究科 准教授 遠藤 貴広

福井大学大学院連合教職開発研究科 准教授 笹原 未来

福井大学大学院連合教職開発研究科 准教授 隼瀬 悠里

### 提案

福井大学大学院連合教職開発研究科長・教授 柳沢 昌一

### コメント

文部科学省 総合教育政策局 教育人材政策課 教員養成企画室長 齋藤 潔

### 今後の展望

〈司会〉 福井大学大学院連合教職開発研究科 客員教授 寺岡 英男

【参考資料】これまでの歩み③

2022 Spring Sessions 2022年2月19日（土）10:00-12:00

「新たな教師の学び」を支える協働のために  
更新制講習以後の研修改革の展望をどう描くか

趣旨説明

情勢報告：教師の資質能力の向上をめぐる施策の動向

文部科学省 総合教育政策局 教育人材政策課 教員養成企画室長 小畑 康生

実践的提案1：教師の主体的・対話的で深い学びとそれを支える研修の在り方

独立行政法人 教職員支援機構 理事長 荒瀬 克己

実践的提案2：今後の教員研修とそれを支える組織協働

福井大学 理事（企画戦略担当）・副学長 松木 健一

コメント

福井県教育総合研究所 所長 北川 裕之

山口大学 教育学部 教授 和泉 研二

宮古島市立教育研究所 所長 平良 善信

コメントを踏まえて 報告・提案者による再定位

今後の展望・提案

福井大学大学院連合教職開発研究科長・教授 柳沢 昌一

〈司会〉

福井医療大学 保健医療学部 教授 寺岡 英男

福井大学大学院連合教職開発研究科 准教授 遠藤 貴広

【参考資料】これまでの歩み④

2022 Summer Sessions 2022年6月18日（土）10:00-12:00

「新たな教師の学び」を支える協働のために  
教員養成フラッグシップ大学構想と養成・研修改革の展望

趣旨説明

実践的提案1：大阪教育大学における協働・省察を促す教員養成カリキュラムへの企図

大阪教育大学大学院連合教職実践研究科主任・教授 峯 明秀

実践的提案2：学び合うコミュニティを培う校内研修とそのネットワーク

福井県小浜市立小浜第二中学校長 加福 秀樹  
福井大学大学院連合教職開発研究科長・教授 柳沢 昌一

実践的提案3：主体的・対話的で深い学びにつながる校内研修と学びの記録を

独立行政法人 教職員支援機構 理事長 荒瀬 克己

コメント

文部科学省 総合教育政策局 教育人材政策課 教員養成企画室長 小畑 康生

省察と展望

〈コーディネーター〉 福井大学 理事（企画戦略担当）・副学長 松木 健一  
福井大学大学院連合教職開発研究科 准教授 遠藤 貴広

【参考資料】これまでの歩み⑤

2023 Spring Sessions 2023年2月18日(土) 9:00-11:00

「新たな教師の学び」を支える協働のために  
学校における学び合うコミュニティの展開と教師教育改革の展望

趣旨説明

情勢報告： 中教審答申後の教師教育政策の動向

文部科学省 総合教育政策局 教育人材政策課 教員養成企画室長 小畑 康生

実践的提案1： 「対話」で創る学び合う若高コミュニティと学校改革

福井県立若狭高等学校 教諭 兼松 かおり

実践的提案2： 主体的な教師が育つゆるいコミュニティづくり

福井県立武生高等学校 教諭 辻崎 千尋

コメント

独立行政法人 教職員支援機構 理事長 荒瀬 克己

省察と展望

福井大学大学院連合教職開発研究科長・教授 柳沢 昌一

〈コーディネーター〉 福井大学 理事(企画戦略担当)・副学長 松木 健一  
福井大学大学院連合教職開発研究科 准教授 遠藤 貴広

## 【参考資料】これまでの歩み⑥

2023 Summer Sessions 2023年6月17日（土）9:00-11:00

## 「新たな教師の学び」を支える協働のために 協働探究型研修の創造・展開への企図の現段階

2022年12月19日の中央教育審議会から出された『「令和の日本型学校教育」を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について～「新たな教師の学びの姿」の実現と、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成～（答申）』では、「新たな教師の学びの姿」として、子供たちの学び（授業観・学習観）とともに教師自身の学び（研修観）も転換し、教師にも「主体的・対話的で深い学び」が求められることが改めて確認された。この研修観の転換に向けては、文科省で予算措置（令和4年度教員研修高度化推進支援事業）もなされるようになり、具体的な条件整備も進んでいる。

本フォーラムではこれまで、理論と実践の往還・融合、教員免許更新制廃止後の研修改革、教員養成フラッグシップ大学構想、学校における学び合うコミュニティの展開といった点から教師教育改革の展望を共有してきた中、今回は改めて行政研修の展開に注目したい。教師の主体的・対話的で深い学びを支えるために、どのような研修が求められるか。研修担当者の主体的・対話的で深い学びも促すために、どのようなネットワークが必要となるか。

教職員支援機構（NITS）では、令和5年度から年間を通じた協働探究型の教員研修を開催し、各都道府県での教員研修とリンクする仕組みを開発している。また、福井県では10年以上前から、旧来の一斉伝達型の研修に代わる新たなモデルとして、受講者による協働探究をベースにした研修が、行政による悉皆の教員研修としても展開している。今回は行政による協働探究型研修の実例を共有しながら、「新たな教師の学び」を支える協働のあり方について新たな展望を探りたい。

### 趣旨説明

#### 報告1： 教職員支援機構における協働探究型研修への企図

独立行政法人 教職員支援機構 審議役/次世代型教職員研修開発センター長 佐野 壽則

#### 報告2： 教育委員会と大学との協働による教員研修の展開とそのネットワーク

福井県教育総合研究所 副所長（研究・研修） 木村 花栄

福井大学大学院連合教職開発研究科 准教授 森田 史生

### コメント

文部科学省 総合教育政策局 教育人材政策課 教員免許・研修企画室長 梶原 哲哉

### 省察と展望

福井大学 理事（企画戦略担当）・副学長/総合教職開発本部長 松木 健一

〈コーディネーター〉 福井大学大学院連合教職開発研究科 准教授 遠藤 貴広